

「みんなのトイレ」で外出が快適に

「みんなのトイレ」とは誰もが利用しやすいよう設備や広さなどに配慮されたトイレを、誰もが安心して使えるように開放する制度のことです。

車いすの方やオストメイト、高齢者、妊婦、子ども連れの方などが外出した場合、困ることの一つがトイレです。トイレが心配で、長時間の外出や外泊を控えている人も多いのではないのでしょうか。

佐賀県では、すべての人が気軽にまちへ出かけられるようになることを目指し、公共施設だけでなく、社会全体で「みんなのトイレ」の普及を目指しています。

オストメイトとは、直腸がんや膀胱がんににより、臓器に機能障害を負い、人工肛門・人工膀胱を腹部に造設した人のことです。協力施設は81施設
(3月14日現在)

みんなのトイレは3タイプ

車いす対応トイレタイプ



車いすの方がスムーズに利用できる広さがあり、トイレ内には腰掛け便座や手洗器が設置され、その周りに手すりが付いています。

多機能トイレタイプ



一般トイレではあるが、車いすの方やベビーカーと付き添いの人が一緒に入り、利用できる広さがあること。トイレ内には腰掛け便座が設置され、その周りに手すりが付いています。

車いす対応トイレタイプの仕様を満たし、さらにオストメイト設備とベビベットの設置があります。

一般トイレで利用しやすいトイレタイプ



「みんなのトイレ」に協力していただいた施設の入出口などには、このマークが掲示してあります。誰もが安心して利用できるトイレの目印です。



みんなのトイレの協力施設を募集しています

協力していただいた企業や施設は、ユニバーサルデザインの推進に積極的に取り組まれている施設として、県のホームページなどで公表し、広くPRしていきます。
対象施設
県内にある店舗、事業所、公共施設などでユニバーサルデザインに配慮されたトイレを整備し、誰もが自由にトイレを利用できる施設。これから整備されることも期待します。
応募方法
県のホームページで所定の用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送、FAX、電子メールでお申し込みください。用紙をダウンロードできない方は、郵送しますのでご連絡ください。

4月1日にUDホームページを開設しました。
県内にある施設の状況や「みんなのトイレ」協力施設などがわかるUDマップも掲載しています。
詳しくは以下のホームページをご覧ください。
アドレス <http://www.saga-ud.jp>

詳しくは 県地域福祉課 ☎0952-25-7053 ✉chiikifukushi@pref.saga.lg.jp

県立病院好生館に電子カルテを導入

4月1日から、県立病院好生館に電子カルテを導入されました。これまで手書きしていた診察内容や検査結果を、パソコンに入力して管理します。

分かりやすい説明を受けられます

パソコンの画面でレントゲン写真の画像や診療データを見ながら、医師の診察を受けられます。病気や治療についての説明が分かりやすくなります。

医療の安全管理が高まります

万が一、入院中の患者さんの取り違えがあった場合などに、電子カルテが警告します。電子カルテの情報を病棟や検査科、薬剤科で利用することで、処方や検査にチェックが働き、医療の安全性が向上します。

導入当初は、外来患者さんの待ち時間が長くなるなど、ご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、皆様のご理解と協力をお願いします。

間違いがないかチェック



画面を見ながら分かりやすく説明



詳しくは 県立病院好生館 ☎0952-24-2171 ✉kenritsubyouin@pref.saga.lg.jp

がん診療連携拠点病院が指定されました

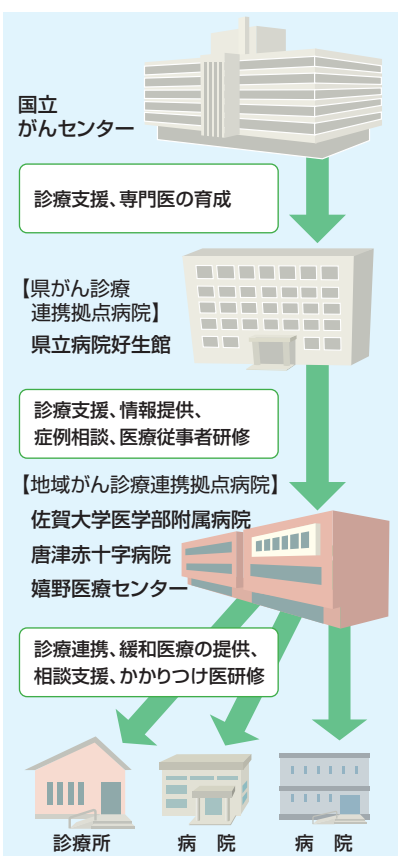
がんは日本人の死亡原因の1位で、もはや国民病といっても過言ではありません。厚生労働省では、身近な医療機関でも質の高いがん診療を受けられるよう、「がん診療連携拠点病院」の整備を進めています。

拠点病院に相談支援センターを設置

各拠点病院に相談支援センターを設置し、専任のスタッフが患者や家族からの相談に一つひとつ丁寧に対応していきます。一般的ながんの病態や治療方法などを提供したり、療養中の患者の相談、セカンドオピニオンへ主治医以外の医師による医療上の意見を提示できる医師の紹介などを行います。

地域全体のがん医療水準をアップ

佐賀県は、がんによる死亡率が高く全国でも上位にあるため、地域全体のがん医療の水準を上げることは最大の課題といえます。誰もが充実したがん医療を受けられるように、今後は県内の拠点病院と地域の病院・診療所が協力して取り組んでいきます。



詳しくは 医務課 ☎0952-25-7072 ✉imu@pref.saga.lg.jp